

2025 年 7 月 3 日

大腸癌研究会
2025 年第 2 回大腸癌治療ガイドライン作成委員会 議事録（案 ver.1）

日時：2025（令和 7）年 7 月 3 日（木）10:00-11:00

場所：グランユアーズフクイ

4F 小会議室 31

および Web（ZOOM）

司会：絹笠祐介

出席者（50 音順、敬省略）

委員：赤木智徳、秋吉高志、石原聡一郎、上原圭、岡志郎（web）、梶原由規、賀川弘康、
加藤健志（web）、絹笠祐介、小林宏寿、斎藤豊、阪本良弘（web）、塩澤学、塩見明生、
篠崎英司、高島淳生、瀧山博年、塚田祐一郎、塚本俊輔、堀田欣一、室伏景子、
山崎健太郎（web）、吉田雅博（web）

事務局：石黒めぐみ、山内慎一

アドバイザー：上野秀樹

前会長：杉原健一

陪席：現地 12 名、Web14 名

議事録

1) 報告事項

- ・販売部数についての報告があった。

2024 年版：約 14,900 部（前回報告 13,200 部）

電子版：約 1,000 部（前回報告 750 部）

2002 年～2022 年版累計：約 228,180 部（前回報告から 1,950 部増）

2) 進捗報告

- ・2024 年版の英文化は、前委員の回覧修正を終え、間もなく投稿作業に入る旨の報告があった。

3) 次回改訂内容およびその他改訂に関する検討

- ・次回改訂の発刊時期を 2026 年 7 月としたタイムスケジュールを確認した。
- ・次回改訂は、主に薬物療法領域部分の改訂を予定している。2026 年 4 月 30 日に開催された薬物療法領域委員による会議内容の報告および本領域の改訂方針について、篠崎委員より以下のとおり説明があった。
 - a) 方針としては、小改訂とする。
 - b) 薬物療法のアルゴリズムや条件付きレジメン採用などの記載方法の変更は次々回大改訂時に行う。

- c) 変更しない CQ の推奨度については再投票不要とする。
- d) 改訂予定の CQ は、「CQ9、CQ23、CQ24、CQ26、CQ28」とし CQ の数は増減しない。
- e) 議論はされたものの現段階で結論づけられないテーマは大改訂時に繰り越す。
- ・以上の説明を受け、JCOG1018 試験（高齢者への薬物療法）を反映させた改訂の可否、バイオマーカーと補助療法に関する記載の可否、などについて討議を行い、薬物療法領域委員による検討を継続していくこととなった。
- ・その他、次回小改訂および次々回大改訂に向けて検討すべきこととして、委員よりいくつかの意見（表在型肛門扁平上皮癌に対する内視鏡的治療、免疫チェックポイント阻害剤使用を含む補助療法、医療コストに関する話題、など）が出された。それぞれのテーマの組み入れる場所（本文各論、CQ、Future research questions、web 版（冊子ではない））などについても検討を続ける方針となった。

4) 次回委員会（定例会）の開催

- ・小改訂部分について本年 10 月頃までに一次案完成を目指し、定例会を開催する予定である。

以上

文責 山内慎一（事務局）